

おんだんカフェVol. **2**

1/23 木
18:30~
20:00

人間が出した炭素の行方は？ -なぜ、CO₂2050年半減、2100年ゼロなのか-

お話:山中康裕さん 北海道大学大学院地球環境科学研究院 教授



山中 康裕さん

台風や豪雨による被害が日常的になってしまった感のある昨今。2020年、温暖化の悪影響を防ぐために世界の国々が取り交わした「パリ協定」がスタートします。この機会に、温暖化について、きちんと、でも堅苦しくなく、一緒に考えてみませんか？

「おんだんカフェ」2回目は、「海洋物質循環」・「炭素循環」の専門家、山中先生に、「気候変動の考え方の基本中の基本(でも、多くの人々が知らないこと)」を、お話していただきます。

1991年東京大学理学系研究科 地球物理学専攻修士課程修了。同年、東京大学気候システム研究センター助手。1998年北海道大学大学院地球環境科学研究科助教授(准教授)、2010年より、北海道大学大学院地球環境科学研究院 教授。研究分野は、地球温暖化、海洋科学、気象学などのほか、SDGs、ESD、CSR、高等教育、環境教育、観光学など多岐に及ぶ。

1/28 火

18:30~
20:00

おんだんカフェVol. **3**

「気候変動と札幌の水害リスク」

お話:小林三樹さん 公益財団法人北海道環境財団理事長



小林 三樹(みつな)さん

水文学・都市計画の専門家の小林先生は、「人々が日々暮らし生業を営んでいる地表面の気候変化が大き過ぎて、居住形態・住民意識や防災施設が追従できないといった状況ではないか」と話されます。今回は、札幌市民が意識していない3つの水害リスクについてお話していただきます。

1961年北大工学部衛生工学科卒、東京都水道局、北大工学部、藤女子大学勤務を経て、2013年から北海道環境財団理事長。北大では水文学、水工学、都市計画、リスク管理等を講ず。非常勤として小樽商大・北星大・武蔵短大等で地球環境、環境科学等を講ず。その間、北海道と札幌市の都市計画・環境影響評価・公営企業等の審議委員、JICAの長期派遣専門家(エジプト)等を務めた。

会場：札幌市環境プラザ環境研修室(北区北8西3札幌エルプラザ2F)
定員：30名(参加費：500円 飲み物・おやつ付き)
申込：011-280-1870(平日9:00~18:00 北海道グリーンファンド)
office@h-greenfund.jp



主催：NPO 法人北海道グリーンファンド

後援：札幌市 協力：札幌市環境プラザ((公財)さっぽろ青少年女性活動協会)

道民カレッジ
連携講座